


# 2024 年度 地域課題研究公募要領

公立大学法人 新潟県立看護大学  
看護研究交流センター地域課題研究開発部門



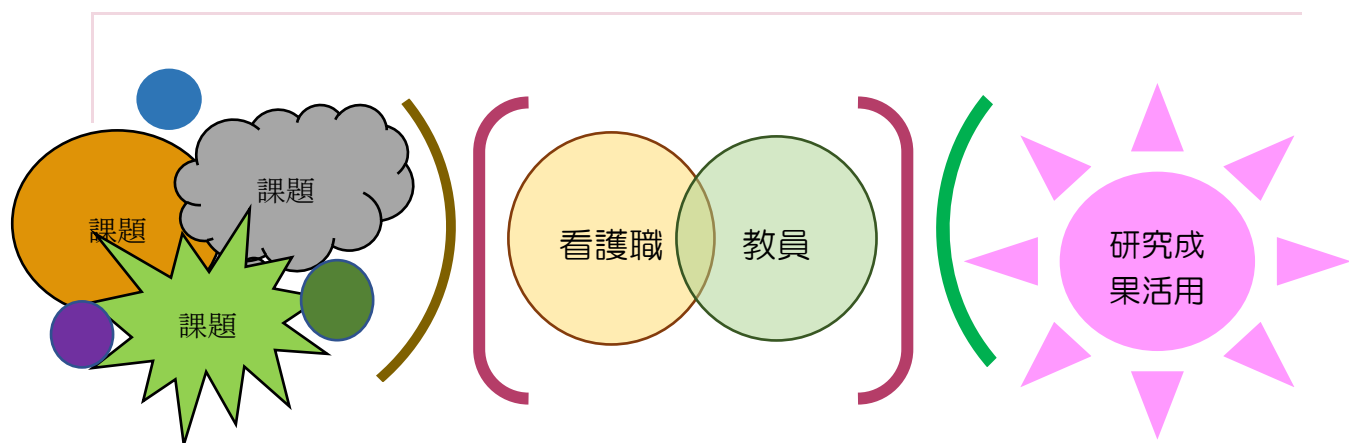
## 看護職として働くなかで、感じる疑問や不安・・・ どのように解決しようとしていますか？

- ★この看護援助の根拠は何だろう。他の病院では、どうしているのだろうか？
- ★収集しているデータを活用するにはどうすれば良いか？
- ★いま行っている援助方法以外に、患者さんの苦痛を緩和する方法はないのだろうか？
- ★安全は大切。でも、できる限り身体拘束はしたくない・・・  
こんな葛藤をもっているのは私だけではないはず。どのように変えていけるだろう？

このような現場における疑問や不安の多くは「看護研究」として取り組むことで、解決の糸口を見いだすことができます。

「看護実践」と「看護研究」は、看護の質向上に向かって、車の両輪を担っています。

「研究は難しい」と一歩踏み出せない方も、「もっと根拠を深める研究に取り組みたい」と思っている方も、本学教員と一緒に看護研究の全プロセスをサポートします。



## 【目的】

新潟県内の保健・医療・福祉に携わる看護職（看護実践家）を対象に新潟県内の看護実践上の問題や課題解決に向けた研究（研究的取り組み）を公募し、看護実践者と本学教員が共同して取り組み、看護実践現場における看護研究の活性化と看護実践の質の向上を目指します。

## 【募集する研究テーマ】

新潟県内の看護実践上の問題・課題に関する研究課題（テーマ）全般

## 【対象者】

新潟県内の看護実践に携わる看護職とし、本学教員（教授、准教授、講師、助教のいずれか）が共同研究者となることを条件とします。予算執行管理等は、本学教員（学内共同研究者）が担います。研究指導はオンライン使用も可能です。

\*大学院生は、公募の対象としない。

### 研究進行スケジュール

## 【研究期間】

2024年4月～2025年9月末

## 【成果報告】

- ① 研究報告書の提出（報告書は発表会用抄録を兼ねる）
- ② 地域課題研究発表会にて報告（2025年9～10月の予定）

## 【助成額】

1件あたり10万円を上限とします。

## 【公募期間】

2023年9月1日(金)～11月30日(木)

## 【応募方法】

下記の手順となります。

### 1. 「研究の動機」(様式1)の提出

郵送またはメールにて看護研究交流センター（以下“センター”）に提出してください。書式は看護研究交流センターホームページ（<https://www.nirin.jp/>）からダウンロードできます。（郵送、来訪、PDF加工しMail添付も可能です）

#### 【学内共同研究者として依頼したい教員が明確な場合】

⇒希望する学内共同研究者名をお書きください。その際、教員が了解している場合は、その旨も書き添えて下さい。P20～P21に教員の研究領域、また研究テーマを掲載しています。参考にしてください。

#### 【学内共同研究者の人選を一任する場合】

⇒ 「研究の動機」の\*5に“看護研究交流センターに一任”と記入してください。

2023年	9月1日～	公募開始
	11月30日	「研究の動機」提出〆切 (様式1)
2023年	12月初旬	審査 学内共同研究者決定 (採択結果通知)
	12月19日	研究オリエンテーション(オンライン)
2024年	1～3月	研究計画書作成
2024年	3月8日	申請書・研究計画書提出 〆切 (様式2-①.2-②.2-③) 研究助成額決定・通知
2024年	4月1日～	研究開始
2025年	9月中旬	研究報告書提出 (発表会資料を兼ねる)
	9～10月	研究発表会

### ※採択

申請していただいた研究はできる限り採択し、研究支援を行う方針としています。  
原則として、1施設につき3件を限度とし、過去に本学地域課題研究費助成金の交付を受けていない研究メンバーを優先します。

### ※学内共同研究者の決定

審議の上、12月中旬までに学内共同研究者を決定し通知します。

### ※オリエンテーションへの参加

採択された方は、**オリエンテーション（オンライン開催）への参加を予定してください。**

**オリエンテーション実施日は、2023年12月19日（火）13:30～約1時間程度**

オリエンテーション終了後に、学内共同研究者との打ち合わせを行います。

オリエンテーションはオンライン開催となります。インターネット環境、パソコン等をご準備ください。詳細は、Mailにてお知らせいたします。

### ※研究計画書の作成

オリエンテーションが終了してから、研究者と教員が相互に連絡をとり、研究申請書等（**様式2-①** **様式2-②**）の作成を行ってください。（書式はセンターHPよりダウンロード可）

## 2. 研究申請書（**様式2-①**）、研究計画書（**様式2-②**）の提出

上記書類は、学内**共同研究者の教員が内容確認後3月8日（金）15:00までに看護研究交流センターに提出してください。**

審査後、「地域課題研究費助成金交付決定」を通知します。

### 【申請内容変更および研究の辞退について】

**変更** 助成金交付決定後、研究メンバー、研究課題名（テーマ）、研究方法等の申請内容に変更がある場合、学内共同研究者を経由し、申請内容変更届**様式3**と変更部分を記載した**様式2-①** **様式2-②**を提出してください。（書式はセンターHPよりダウンロード可）

**辞退** 助成金交付決定後、止む無く研究を継続できない場合は、学内共同研究者の了解のうえ、地域課題研究辞退届**様式4**を提出してください。（書式はセンターHPよりダウンロード可）

この場合、これまでにかかった研究経費を含む助成金全額を返還するものとします。

## 3. その他

研究者と研究メンバーは、本学のどこカレメイト（無料）に登録していただきます。  
申請の方法については後日連絡します。**様式2-③** **様式2-④**が申請書になります。  
（書式はセンターHPよりダウンロード可）

**提出先** 公立大学法人新潟県立看護大学 看護研究交流センター  
〒943-0147 上越市新南町 240 番地

※直接持参される場合は、看護研究交流センターまで

**連絡・問合せ先** 看護研究交流センター(担当者)

電話・FAX：025-526-2822 E-mail：nirin@niigata-cn.ac.jp

## 研究の動機

施設名 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

職種 \_\_\_\_\_

Mail (常に連絡可能なアドレス)

\_\_\_\_\_

<p>* 1 研究テーマ (考えているテーマを記載)</p>	
<p>* 2 研究テーマとする動機・理由 (自分の「本音」を記載してみましょう)</p>	
<p>3 研究方法 (考えている方法)</p>	
<p>* 4 研究体制 (一緒に取り組むメンバー等)</p>	
<p>* 5 希望する学内共同研究者 (本学教員名、または領域)</p>	

\* 欄の記入は必須

2024 年度 新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究申請書

年 月 日

新潟県立看護大学

看護研究交流センター長 様

**申請代表者**

所属機関  
所属部署名  
氏名  
住所又は  
所在地  
電話番号  
メールアドレス

**学内共同研究者**

氏名 \_\_\_\_\_ (印)

このたび、下記のテーマ名で別紙研究計画のとおり申請します。

記

1. 研究テーマ名

様式2-②

新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究 研究計画書

(記載例はP13を参照)

不採用時の評価の開示

1. 希望

2. 希望なし

研究テーマ	
-------	--

研究メンバー	氏名	所属	役職
	研究代表者	連絡先：	
	研究メンバー		
	学内共同研究者（複数の場合、1が学内責任者）	領域	
	1.		
	2.		

研究経費

品名（数量・単価含む）	金額	必要とする理由
〈旅費〉	↑ 実際の金額を調べて記入して下さい。 ↓	
〈需用費〉		
〈役務費〉		
〈報償費〉		
合計金額		千円 ※（合計金額の千円未満は切り上げ）

研究目的(研究の背景、研究の目的、予想される結果と意義、関連する研究の中での当該研究の位置づけ)

研究計画の概要（研究目的を達成するための研究計画・方法）

倫理的配慮



## 計算機資源利用申請書（一般用）

太枠内のみ記入

新潟県立看護大学 情報ネットワーク特別委員長 様

私は、新潟県立看護大学情報管理・倫理規程等を遵守することを誓い、利用を申請します。  
また、同規程等に反した場合は、速やかに接続を取り消します。

		申 請 日	令和 年 月 日		
利用申請者	氏 名	Ⓜ			
	勤務先 (TEL)				
I D (半角英小文字)					
<学外接続欄>					
申請受付日	令和 年 月 日	学外接続受付番号	担当者		
備考					

## 計算機資源利用申請承認書

様					
上記利用申請について、新潟県立看護大学情報管理・倫理規程等に従うことを条件に承認します。					
令和 年 月 日					
(利用期間：令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日)					
新潟県立看護大学 情報ネットワーク特別委員長					
申請受付日	令和 年 月 日	受付番号	担当者		
学外接続受付番号					
I D (依頼の際に条件をお知らせします)					
パスワード (依頼の際に条件をお知らせします)					

\* 太線枠内のみ記入してください。ID/パスワードの設定は規定に合わせご記入下さい

\* 名字のみは避け、IDとパスワードは同一にしないでください。IDは原則として変更できません。

**どこでもカレッジプロジェクト会員申込書**  
(メイト登録用)

申込み日	令和 年 月 日
ふりがな 氏名	
資格	➤ 該当する項目の【 】内に○をつけてください。 【 】保健師 【 】助産師 【 】看護師 【 】准看護師
連絡先 (自宅)	〒 ー
	住所：
	電話： FAX：
	E-mail： @
勤務状況	<u>勤務先</u> をご記入ください。 ( ) 又は 【 】無職
志望動機	➤ 該当する項目の【 】内に○をつけてください。 【 】最新の医療や看護を学びたいと考えたため 【 】現在、育児休業中であり職場復帰をするため 【 】現在、就業していないが仕事を始める準備をするため 【 】その他 ( ) ----- 「どこカレ」を何で知りましたか？ ( )

\*情報等はどこでもカレッジプロジェクト運営の目的以外に使用することはありません。

申込先：〒943-0147 新潟県上越市新南町 240 番地  
新潟県立看護大学 看護研究交流センター  
電話& FAX：025-526-2822  
E-mail：nirin@niigata-cn.ac.jp

様式3

2024 年度 新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究  
申請内容変更届

年 月 日

新潟県立看護大学  
看護研究交流センター長 様

(申請代表者)  
所属機関  
氏名

このたび、別紙のとおり申請内容を変更しましたので報告します。

記

1. 研究テーマ名

2. 変更内容

1) 変更の内容

(例) 研究メンバー追加、研究テーマ、研究経費内容等

[ ]

\*添付資料として下記を作成する。

様式2-① 及び 様式2-②の研究計画書右上に (申請内容変更届用) と追記し、変更した内容の箇所のみを記載する。

2) 変更理由

[ ]

## 2024年度 地域課題研究 辞退届

年 月 日

新潟県立看護大学

看護研究交流センター長 様

(申請代表者等)  
所属機関

職種

氏名

㊞

学内共同研究者名

㊞

この度、来る 年 月 日 をもちまして、辞退したいのでお届けします。

<理由>

## 2024 年度 新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究

### 研究計画書作成・記入要領

看護研究交流センター

研究申請書様式 2-②は、新潟県立看護大学看護研究交流センター（以下「センター」略）の地域課題研究費助成金の交付を申請しようとする者が、あらかじめ当該研究計画に関する概要を記入し、センター長あてに申請するものであり、地域課題研究費助成金審査の資料となるものである。下記の点に留意した上で、指定された研究計画書様式を使用し、学内共同研究者と相談の上作成すること。所定の様式を使用すること。

なお、審査の結果は「地域課題研究費助成金決定」をもって通知する。

研究のメンバー・テーマ・方法等の申請内容に変更があった場合は、速やかに申請内容変更届様式 3 と研究計画書（申請内容変更届用）を提出すること。

#### 記

研究メンバーは新潟県内の看護職と本学の教員で構成する。申請代表者は新潟県内の看護実践に携わる看護職とし、本学の教員（教授、准教授、講師、助教のいずれか）を学内共同研究者とする。

申請できる研究テーマ数は1件に限るものとする。

1. 学内共同研究者が複数の場合、「学内責任者」を1名決める。
2. 「所属」欄には、研究計画書作成時点での所属・職を記入する。
3. 「研究経費」の欄には、研究計画に基づいて、使用内識別にそれぞれ記入し、総計を記入する。予定予算を上回っての使用は認められない。
4. 研究経費の記載は、地域課題研究オリエンテーション資料「研究助成金の手続き方法」を参照の上、実際の金額を調べて記入する。また、旅費は申請額全体の 6 割を超えない範囲とする。
5. 研究採択後止む無く、研究を中断せざるを得ない場合は、地域課題研究辞退届様式 4 を提出する。この場合、これまでに掛かった研究経費を含む全額を返金するものとする。

記入見本

様式2-②

新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究 研究計画書

不採用時の評価の開示 ①. 希望 2. 希望なし

申請代表者	新潟 花子
研究テーマ	××における〇〇に関する実態調査

	氏名	所属
研究メンバー	研究代表者 新潟 花子	〇〇会△△病院 看護師 連絡先：※※-□□-××××
	研究メンバー 中越 花子	〇〇会△△病院 看護師
	高田 桜	看護師
	学内共同研究者 上越 太郎	新潟県立看護大学 講師
	※メンバーが多い場合は、 枠内で罫線を増やして記載 する	

研究経費

品名 (数量・単価含む)	金額(千円)	用途
〈旅費〉 △△病院ー県立看護大学 (車) 〔@22 × 160 km (往復)+高速代 4,000〕 ×3回	23千円	研究指導を受けるため
〈需用費〉 A4 コピー用紙, 封筒 書籍代 (@2,200×2) (@2,800×1)	6千円 7.2千円	質問紙調査に使用 参考文献の購入に使用
〈役務費〉 郵送料 (@120×300, @99×100 テープ起こし(派遣) (@1,700×4 時間)	4.6千円 7千円	質問紙送料・返送料として 質問紙調査集計作業の人員確保のため
〈報償費〉 講師料 (@4,700×2 時間)	10千円	〇〇〇研修の講師料とする
(*@は単価)	* 合計金額の千円未満の端数は切り上げる	合計金額 <u>100千円</u>

研究目的（研究の背景、研究の目的、予想される結果と意義、関連する研究の中での当該研究の位置づけ）

\* 所属施設内に生じている課題の提示だけではなく、先行研究を参考に、研究の必要性が高く、地域の看護実践上の問題解決の取り組みとして寄与できる研究テーマであることを述べる。

\* 研究期間内で、何をどこまで明らかにするのかを明確に述べる。

研究計画の概要（研究目的を達成するための研究計画・方法）

\* 研究の対象・場所、データとその収集方法、分析方法を項目別に記載する。

倫理的配慮

\* 研究遂行にあたり必要な倫理的配慮を明記する。原則として、本学または申請代表者の所属機関等の倫理委員会の承認を受けて実施する。

新潟県立看護大学  
看護研究交流センター地域課題研究助成による研究報告書 作成要項

## 1. 研究報告書

- ・学内共同研究者である教員の確認を受け、期日までに看護研究交流センターに提出する。
- ・報告書は、研究実施終了年度の看護研究交流センター活動報告書に掲載するとともに、本学リポジトリにて公開する。また、報告書 2-2 は研究発表会の際、抄録として使用する。
- ・報告書は所定の様式を用いて作成する（所定の様式を変更してはならない）。
- ・報告書 2-1 は、研究課題名は 12 ポイント、他の活字は 11 ポイントとする。  
報告書 2-2 は、研究課題名は 12 ポイント、本文活字は 10 ポイントとする。  
日本語用フォントは MS 明朝、英数字用フォントは Century とする。
- ・句読点は「、(コンマ)」と「.(ピリオド)」に統一し、横書き、現代かなづかいとする。
- ・外国人名、地名などは原綴を使用する。度量衡の単位は国際単位の表記に従う。
- ・欧米文字、数字は半角文字とする。

## 2. 研究報告書記載要領

- 1) 所定の様式に従い、「研究課題名」「研究代表者の氏名・所属」「研究分担者の氏名・所属」「学内共同研究者の氏名」「研究助成金執行報告」「研究成果の概要」「キーワード」「研究成果の公表」を記載する。
- 2) 「研究成果の概要」は 1200 字から 1800 字とする。研究プロセス（研究の目的・方法・結果・考察・結論）に基づきわかりやすく記述する。
- 3) 「キーワード」は、3～5 の範囲とする。
- 4) 「研究成果の公表」は 100 字以内とし、今後の発表予定を含めて記載する。
- 5) 研究助成金執行報告は、未記入でも良い。  
\*看護研究交流センターにて最終修正を行う。
- 6) 提出方法：看護研究交流センターのアドレス（nirin@niigata-cn.ac.jp）に PDF ファイルではなく、編集可能なファイル形式（例. Word ファイル）で送信する。



(余白は、上下左右 各 20 ミリに設定)

2024 年度地域課題研究助成による報告書

2-1

研究課題名

1. 研究代表者及び所属

研究代表者：

所属：

2. 研究分担者氏名 (所属)

3. 学内共同研究者

新潟県立看護大学 : 氏名

4. 研究助成金執行報告 (未記入でも可)

(円)

予算額	(円)				
執行額	旅費	報償費	役務費	需用費	合計

5. 研究成果の公表 (100 字以内) 学会発表や施設内発表、論文投稿等 (終了済み・予定も記載)

(余白は、上下左右 各 20 ミリに設定)

## 2024 年度地域課題研究助成による報告書

2-2

表題 (12 ポイント)

研究者名、所属施設名、学内責任者名 (10 ポイント)

キーワード (3～5 個: 10 ポイント)

### 研究概要

- ・本文 10 ポイント 1200～1800 字 行間の調整を行い 1 ページ内に収める
- ・目的, 方法, 結果, 考察, 結論の順に簡潔に記載する
- ・倫理的配慮は必ず記載する
- ・図表は掲載可だが文字サイズは最低 8 ポイントとする
- ・利益相反について

報告書の最後に「2024 年度新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究助成を受けて実施した」旨を明記する。また、その他の利益相反がある場合も追記する

— 参考 — (現在進行中の研究)

年度	研究代表者	所属	学内共同研究者	研究テーマ
令和5年度地域課題研究	大澤 寿子	新潟県立柿崎病院	関 睦美	看護師の退院支援モデル活用の効果と課題～退院支援モデルを活用した教育的プロセスの効果について～
	佐藤 七重	豊栄病院豊栄訪問看護ステーション	前川絵里子 高林知佳子	神経難病療養者を担当する介護支援専門員が訪問看護師に期待すること
	志賀木綿子	総合リハビリテーションセンターみどり病院	原 等子	認知症者が医療に結び付かない理由とその特徴—認知症初期集中支援チームの活動を通して早期受診行動に結び付ける対応を考える—
	瀧澤いずみ	新潟信愛病院	山岸美奈子	A 県内の病院に勤務する看護師の臨床における看護研究活動の課題と効果的な支援の検討
	外川 友子	長岡赤十字病院	相澤 達也	A 病院救急病棟看護師の臨床看護実践の状況における携帯用擦式アルコール消毒薬による手指衛生の認識
	箕輪 明美	長岡赤十字病院	石原 千晶	乳房再建手術における前頸部皮膚障害予防への取り組み ～統一された看護を実施するために～
	柳澤美直代	藤田企画グループホーム癒しの家	東條 紀子	認知症対応型共同生活介護における医師不在時の ICT を活用した遠隔看取りの実際
令和5年度地域課題研究	武田 一久	渡辺内科医院	東條 紀子	A 地域の入居型介護施設における透析患者の入所に関する現状と課題 —介護施設の職種に焦点を当てて—
	関 真和	長岡赤十字病院	原 等子	身体抑制の低減に向けた実践 —看護師の年代別インタビューによる課題分析を踏まえた介入をとおして—
	桑原香菜子	長岡赤十字病院	石岡 幸恵	在宅酸素療法を受ける患者の医療機器関連圧迫創 (MDRPU) に対する認識と対処の実際
	米持 純子	新潟県立中央病院	岡村 典子	当院のコロナ専用病棟に勤務する看護師の身体的・精神的影響に関する実態調査
	吉村登紀恵	新潟労災病院	酒井 禎子	A 病院壮年期女性看護師の骨密度と骨粗鬆症の知識に関する実態調査
	高橋 恵美	厚生連上越総合病院	伊豆上智子	確認不足によるインシデントの分析と対策
令和3年度	皆川みどり	長岡赤十字病院	樺澤三奈子	外来透析に通院する高齢患者の透析継続における困難と取り組み
	石川 真彩	さいがた医療センター	安達 寛人	精神科急性期病棟における睡眠改善に向けた取り組み

(終了した研究)

年度	研究代表者	所属	学内共同研究者	研究テーマ
令和3年度地域課題研究	齊藤千恵子	厚生連糸魚川総合病院	石田 和子	A病院の新人看護師がリアリティショックを乗り越えた要因
	清水 博美	新発田リハビリテーション病院	原 等子	多職種協働で立ち上げた認知症ケア委員会の取り組み
	本田ひとみ	新潟県立リウマチセンター	酒井 禎子	関節リウマチ患者における手の洗い残し調査
	本山 和樹	長岡赤十字病院	小林 綾子	虚血性心疾患を併発した糖尿病患者の療養生活への思い
	赤川 美穂	長岡赤十字病院	山田 恵子 (前)高橋絹代	臓器提供時の各段階における必要な看護を明らかにする ～家族への看護を振り返って～
	土屋 尚	新潟労災病院	酒井 禎子	整形外科疾患を持つ患者の就労支援に対するニーズ
	佐藤予右子	(前勤務先) 上越地域医療センター病院	(前) 小野 幸子 河原畑尚美	高齢患者の終末期における治療と人工栄養に関する意思決定支援の現状と課題 一地域包括ケア病棟に勤務する看護師に焦点を当てて一
	水澤三津江	新潟労災病院	大久保明子	当院の退院支援の評価からみえた課題 ～退院支援評価表を分析して～
	柳澤絵里奈	新潟県立中央病院	酒井 禎子	三次救急を担うA病院におけるがん放射線療法看護の現状
	斎藤真樹子	総合リハビリテーションセンター みどり病院	前川絵里子	人生最終段階と説明を受けた患者の家族などの代理決定者の葛藤
令和2年度地域課題研究	木村 恵美	長岡赤十字病院	東條 紀子	A病院救急外来受診患者への救急外来看護師による帰宅時支援の実際
	田巻 康弘	介護老人保健施設 ケアホーム三条	永吉 雅人	手洗い研修により介護職員の手洗いが習慣化するかの検証 ～A介護老人保健施設における感染予防への取り組み～
	南雲 敬子	長岡赤十字病院	前川絵里子	A地域の救急医療輪番病院で急性期医療に携わる看護師のACP認知度に関する実態調査
	松井ルミ子	新潟県立中央病院	岡村 典子	開心術後の患者に対する早期リハビリテーションの効果
	涌井 幸恵	新潟県立中央病院	高柳 智子 相澤 達也	3次救急医療施設における一般病棟での急変事例の現状分析一早期警告スコア(National Early Warning Score)を用いた後方視的調査から一

## 新潟県立看護大学教員別専門研究分野の紹介

領域	氏名	主な研究テーマ
基礎看護学領域	看護管理学	伊豆上智子 ・看護サービスマネジメントに関する研究 ・看護にかかわる情報の管理および活用に関する研究
	基礎看護学	岡村 典子 ・看護におけるコミュニケーション（感情活用） ・人間関係に関する研究 ・基礎看護学、看護技術学に関する研究
		川島 良子 ・臨地実習指導に関する研究 ・看護技術教育に関する研究
		谷内田潤子 ・健康教育,患者教育に関する研究
		山岸美奈子 ・新人教育に関する研究
		池田よし江 ・看護学基礎教育における研究 ・臨床判断力に関する研究 ・緩和ケア, 看取りに関する研究
臨床看護学領域	母性看護学・助産学	常盤 洋子 ・母性意識の形成・発達と看護支援に関する研究 ・児童期の母親支援に関する研究 ・自律的助産活動にむけた助産師の生涯教育に関する研究
		西川 美樹 ・基礎教育課程の学生の専門職意識の構築について ・工学技術を用いた看護の可視化
		八巻ちひろ ・看護職の月経随伴症状に対する保健行動因果モデルの検討
		上田 恵 ・性的マイノリティの家族形成について
		伊藤美由紀 ・母性、助産に関する研究
	小児看護学	大久保明子 ・子どもを亡くした遺族のケアに関する研究 ・小児がんの子どもと家族のケアに関する研究 ・医療的ケア児と家族のケアに関する研究
		山田 恵子 ・学校・保育施設における子どもの傷害予防教育 ・医療的ケア児と家族が安心して社会生活を営むための連携 ・救急外来で突然に子どもを亡くした親のグリーフケア
		野澤 祥子 ・先天性心疾患の子どもと家族に関する研究
		伊藤ひかる ・子供と家族の精神的健康に関する研究 ・レジリエンスに関する研究
	成人看護学	石田 和子 ・がん化学療法を受けている患者の有害事象の予防と対処および看護介入に関する研究 ・がん患者・家族の心理的支援に関する研究 ・女性生殖器がん患者に関する看護支援に関する研究
		高柳 智子 ・脳卒中リハビリテーション看護に関する研究 ・看護師の臨床判断の解明に関する研究
		酒井 禎子 ・エンド・オブ・ライフ・ケアおよび緩和ケアに関する研究 ・高齢がん患者と家族への援助に関する研究
		樺澤三奈子 ・倦怠感他, がんとうん治療に関連する症状のセルフマネジメントを支える看護介入に関する研究
		小林 綾子 ・糖尿病患者の看護に関する研究 ・糖尿病予防に向けた健康教育
		石原 千晶 ・がん看護に関する研究
		石岡 幸恵 ・がん看護に関する研究 ・乳がん看護に関する研究
		相澤 達也 ・周手術期関する研究 ・緩和ケアに関する研究
		坂田知佳子 ・がん患者の在宅療養に関する研究 ・エンドオブ・ライフ・ケアに関する研究

地域生活看護学領域	老年看護学	小長谷百絵	・セルフ・ネグレクトを含む高齢者虐待防止に関する研究 ・難病看護に関する研究 ・看護師の「聴くこと」に関する研究
		原 等子	・認知症ケアに関する研究 ・高齢者のケアの質向上に関する研究 ・高齢者の口腔機能向上・食援助・排泄援助に関する研究
		大倉 由貴	・認知症高齢者のケアに関する研究
		東條 紀子	・高齢者と家族への在宅療養支援に関する研究 ・看護基礎教育に関する研究
		青山 拓夢	・コロナ禍における老健施設での面会制限の影響に関する研究
		金井 香織	・高校生における自尊感情・コントロール・ソーシャルサポート・自己実現の関連性
	精神看護学	谷本 千恵	・精神に障害を抱える当事者と家族に対する看護・ピアサポートに関する研究 ・コミュニティメンタルヘルスに関する研究 ・精神科病院における自殺対策に関する研究
		佐々木三和	・摂食障害に関する研究 ・境界性パーソナリティ障害者に関する研究
		船山 健二	・触法や罪を犯した障がい者・高齢者の社会参加と看護に関する研究 ・薬物依存症の回復支援に関する研究 ・知的障がい児者の看護に関する研究
		安達 寛人	・豪雪地域で生活する精神障がい者に関する研究 ・精神科病棟の危険物・預かり物品の取り扱いに関する研究
		早藤 夕子	・精神科看護師の習熟に関する研究
	地域看護学	高林知佳子	・家族介護者の QOL 向上に関する研究 ・地域の健康課題に関する研究 ・保健師活動に関する研究
		野口 裕子	・災害時の保健活動に関する研究
		関 睦美	・医療的ケア児と家族への支援に関する研究 ・看護学生の実習での学びに関する研究
		前川絵里子	・難病保健に関する研究
久保野裕子		・労働者の生活習慣病を予防するための看護に関する研究	
人間環境科学領域	社会科学	渡辺 弘之	・ベトナムのハンセン病患者への社会復帰支援に関する研究
		徐 淑子	・健康現象の社会・文化的背景についての研究 ・保健行動の背景要因についての研究 ・薬物・アルコール依存症および HIV/エイズに関わる諸問題についての研究
	情報科学	中村 義実	・リベラルアーツに根ざす英語教育 ・異文化コミュニケーション論 ・アメリカ研究
		永吉 雅人	・経験によって学習する強化学習とその応用に関する研究 ・化学物質過敏症に関する調査研究 ・看護師勤務計画表に関する研究
		Elderton Simon	・第二言語習得 ・社会言語学 ・第二言語モチベーション ・遺伝看護
	生物・医学	石井 角保	・ホルモンの作用機構と関連疾患に関する研究
		堀江 正男	・運動機能発現に関わる神経回路網の解析に関する研究
		葛城 美徳	・ストレス顆粒形成による神経変性疾患への影響に関する研究 ・放射線照射による発がん機構に関する研究

(2023年4月現在)

## お申し込み・お問い合わせ

 公立大学法人

**新潟県立看護大学 看護研究交流センター**

〒943-0147新潟県上越市新南町240番地

TEL・FAX **025-526-2822**

(受付時間 平日 9 : 30 ~ 16 : 00)

メールアドレス [nirin@niigata-cn.ac.jp](mailto:nirin@niigata-cn.ac.jp)

ホームページ <https://www.nirin.jp/>

